第 42 回全日本バレーボール小学生大会大会運営ガイドライン

新型コロナウイルス感染防止対策

2022年4月22日





目次

【1】基本理念	
1. 基本理念	Р3
2. 大会の開催方針	Р3
3. 参加者に求める感染拡大防止措置	P4
4. 大会当日受付時の留意事項	P5
【2】大会運営①	
1. ゾーニング・動線	P6
2. 諸室(控室)	P6
3. 手洗い場・洗面所等 (トイレ)4. 観客席	P6 P7
5. 机・椅子の消毒・ゴミの破棄	P7
6. 競技関連(試合・練習)	P7
6-1 競技に関する留意事項	P8
【3】大会運営②	
1. 参加者の入館について	P9
2. 健康チェックシートについて	P9
3. 大会役員の受付	P10
4. 健康チェックシートについて	P10
【4】大会運営③	
1. 基本的な感染予防策	P11
2. 新型コロナウイルス感染症にかかる相談窓口について	P12
3. 応援等で禁止する行為	P12
4. 応援等で容認する行為	P12

【1】基本理念

1. 基本理念

- (1) 本ガイドラインは、第 42 回全日本バレーボール小学生大会の運営にあたり、基本的な開催可否判断のための基準とともに、感染防止対策を講じたうえで大会の開催と運用のポイントを示すものです。なお、本ガイドラインは、日本バレーボール協会より2022. 4. 1 (訂正版同4. 22) で示された大会運営ガイドラインに準拠して、全日本バレーボール小学生大会のための、ガイドラインとして作成をしたものです。大会開催にあたっては「厚生労働省の新型コロナウイルス感染症について」および「内閣官房HP」も参考にしながら感染防止対策を講じたうえで大会の開催と運営を行ってください。
- (2) 感染拡大の状況および政府や開催地都道府県、それぞれの会場施設管理会社の指針に基づいて主催者側を含めた関係部署での十分な協議が必要になります。感染リスクへの対応が整わない場合には、中止または延期するなど慎重に決定してください。

2. 全日本バレーボール小学生大会の開催方針

(1)全日本大会(都道府県大会含む)の開催可否方針

大会等の開催については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に応じて、以下の指針を基に判断します。

- □ 都道府県大会の開催状況(全国大会)
- □ 政府および開催地自治体の方針
- □ 緊急事態宣言の発令の有無
- □ イベント自粛要請
- □ 施設利用の自粛要請
- □ チーム関係者の状況
- □ その他競技団体の動向

新型コロナウイルス感染状況は刻々と変化しています。指針とは異なる事柄や指針にはないような状況に直面する場合もあるかと思われます。その際は国や都道府県、関係省庁の指針だけではなく、厚生労働省の新型コロナウイルス感染症について(参考1)、内閣官房HP(参考2.3)などからの情報に加えて、参加者や関係者の「安全・安心」を最優先に大会運営に当たってくださいますようお願いいたします。

- (参考1) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- (参考2) https://corona.go.jp/proposal/
- (参考3) https://corona.go.jp/package/assets/pdf/jimurenraku_seigen_20220218.pdf

(2)全国大会の開催可否判断について

[検討項目(選択肢)]

- ① 都道府県大会が 1 都道府県でも中止及び目途が立たない → 協議
- ② 都道府県大会が複数中止及び目途が立たない → 協議
- ③ 開催地の会場および自治体が受け入れ不可 → 全国大会中止
- ④ 選手等の安全安心が担保できない → 全国大会中止
- ⑤ その他

【1】基本理念

3. 参加者に求める感染拡大防止措置

全日本バレーボール小学生大会の開催に際し、感染拡大の防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして、協力を求めてください。参加者の安全を確保するため、これを遵守できない参加者には大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることを周知してください。なお、大会の主催者として、参加者に求める感染拡大防止のための措置として、以下が挙げられます。

- ① 次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること(大会当日に書面で確認を行う) ア 体調がよくない場合 (例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ② マスクを着用すること
 - 移動しているとき
 - 競技を行っていないとき
 - ・ベンチにいるとき
 - 会話をするとき
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行うこと
 - 入館 退館時
 - ・食事の前後
 - トイレの後
- ④ 他の参加者との距離を確保すること(できるだけ2m以上) (障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)







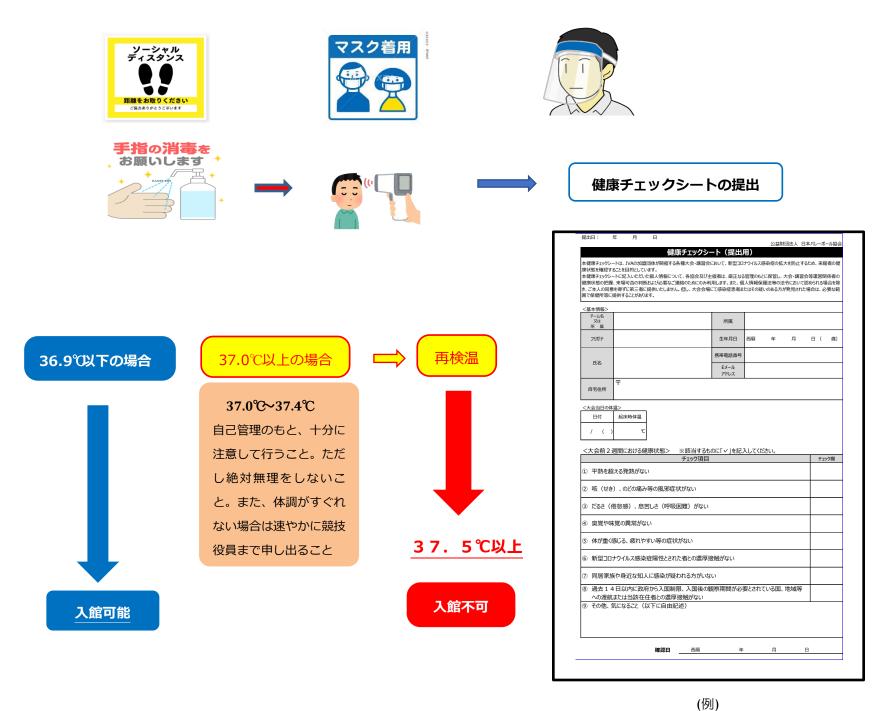
- ⑤ 感染拡大防止策のために、主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- ⑥ 大会終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

【1】基本理念

4. 大会当日受付時の留意事項

大会の主催者は、大会当日の受付時に参加者が密になることの防止や、安全に大会を開催するため、以下に配慮して受付事務を行うことが必要です。

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
- ② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること (状況によっては、発熱者を体温計などで特定し、入場を制限することも考えられる)
- ③ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること
- ④ 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと
- ⑤ 受付を行うスタッフには、マスク(必要に応じてフェイスシールド)を着用させること



ŕ

【2】大会運営①

1. ゾーニング・動線(※試合会場のスペース等も考慮してください)

受付終了後、それぞれ控室・競技場に移動する際に、チーム(選手)と競技役員または観客との動線を区別し、更に会場のゾーニングと動線について使用する体育館等の状況に応じて設計をお願いします。

会場のゾーニングを徹底することで、感染者が発生した際の影響範囲を限定することが可能になります。

ゾーン1: 競技関連:コート、ベンチ、ウォームアップエリアを含む競技エリア、選手入場口、選手および審判員の控室

ゾーン2:大会運営スタッフ等:運営スタッフ控室、プレス席(プレス控室)

ゾーン3:観客・保護者・応援団等:客席・保護者・応援団

2. 諸室(控室)

チーム控室、更衣室、競技役員控室、補助役員控室、荷物置き場など休憩・待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意することが必要です。大会等の主催者は、更衣室や、一時的な休息をするための休憩スペース、参加者等が参加前の確認を受ける待機スペース(招集場所)について、以下に配慮して準備をお願いします。

- ① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること(障がい者の介助を行う場合を除く)
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
- ③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取っ手やテーブル、椅子等)については、こまめに消毒すること
- ④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること

3. 手洗い場・洗面所(トイレ)

- ① 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意することが望ましい。
- ② 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を用意することが望ましい。
- ③ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- ④ 手指を乾燥させる設備については使用しないこと、参加者にマイタオルの持参を求めること
- ⑤ 洗面所(トイレ)についても感染リスクが比較的高いと考えられることに留意することが必要。
- ⑥ トイレ内で複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)については、こまめに消毒することが望ましい。
- (7) トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示することが望ましい。

【2】大会運営①

4. 観客席

大会の観戦において観客も参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとることが必要です。

- (1) 大声での声援を送らないことや会話を控えてください。
- ② マスクを必ず着用してください。
- ③ 屋内で競技を実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行ってください。試合中は遮光の関係で暗幕を閉じる必要が出てきます。窓を開けながら行うとしても気温上昇にともない、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うことが大切です。具体的には空調設備や必要に応じて扇風機を活用するなどの工夫を心掛けてください。
- ④ 主催者は、感染対策とともに熱中症のリスクにも備えてください。特に、マスクを着用していると水分補給を忘れてしまうことにより体温が上昇することがあるため、こまめに水分を補給するように注意喚起をお願いします。

5. 机・椅子の消毒・ゴミの廃棄

会場で使用する机・椅子の消毒については、使用前に必ず消毒を行ってください。

- ① チームベンチについても、試合前に必ず消毒を行うこと。特に1日2試合以上開催の場合には試合間にもベンチの消毒を行ってください
- ② 観客席の消毒についても開場前、退場後に必ず消毒を行ってください。
- ③ ゴミの廃棄について、鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用し、また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒を行ってください。

6. 競技関連(試合・練習)

- (1) 施設の定期的な換気を行ってください。
- ② 試合前後の握手は一礼で代替する。
- ③ 試合前後やタイムアウトでのベンチ集合時、できるだけ密集・接触を避ける。
- ④ ベンチおよびウォームアップエリアでは互いに間隔を取り、密を避ける。
- ⑤ タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用は控える。

【2】大会運営①

- ⑥ボール消毒は大会競技役員が行ってください。
- ⑦ コート面のモップはチームで対応することにしますが、枝つきモップ(1本)を準備しておいてください。
- ® ベンチは試合前、セット間、試合後はチームが消毒を行い、ネット・ボール・得点板は審判員又は競技役員が試合間に消毒を 行ってください。
- ⑨ 大きな声出しは控え、飛沫防止を徹底してください。
- ⑩競技中、靴底を手で触らないでください。

6-1 競技に関する留意事項

- ① 試合開始時、終了後は競技役員(係員)の指示で移動してください。
- ② 各チームで会場に持ち込む用具(練習球・トローリーなど)は、使用前後で必ず消毒を行ってください。
- ③ 試合への出場選手以外は、チーム関係者全員がマスクを着用してください。また、自身の感染リスクや他の選手に配慮してコート内の選手がマスクを着用しても問題ありません。
- ④ タオルの共有やドリンクの回し飲みは絶対に避けてください。また、チーム内で出たゴミは必ず持ち帰ってください。
- ⑤ チームベンチは身体的距離が確保できるよう、1席分を空けて座ってください。
- ⑥ベンチは2列にするなど通常ルールよりもベンチエリアを拡大して設置してください。
- ⑦ ウォームアップエリアについてはベンチ後方に設置し、ソーシャルデイスタンス確保の観点から、可能な限り4m×4mの広さを確保してください(人数に合わせて長方形での設置も可能です)。
- ⑧ ベンチの選手及びチームスタッフは、ベンチ内及びウォームアップエリアではマスクを着用してください。

【3】大会運営②

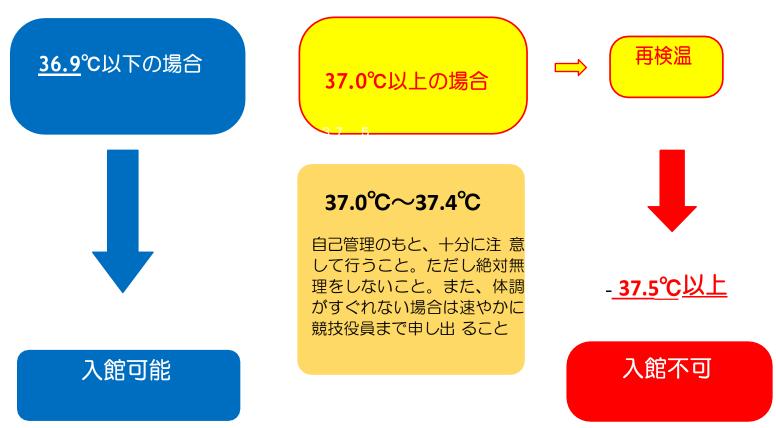
1. 参加チーム関係者の入館について

受付にて(ID パスチェック) → 健康チェックシートの提出 → 手指の消毒をお願いします。

健康チェックシートの提出

※IDパス チーム関係者を特定表示する名札等代用可

検温 (非接触型体温計)



2. 健康チェックシートについて

参加チーム

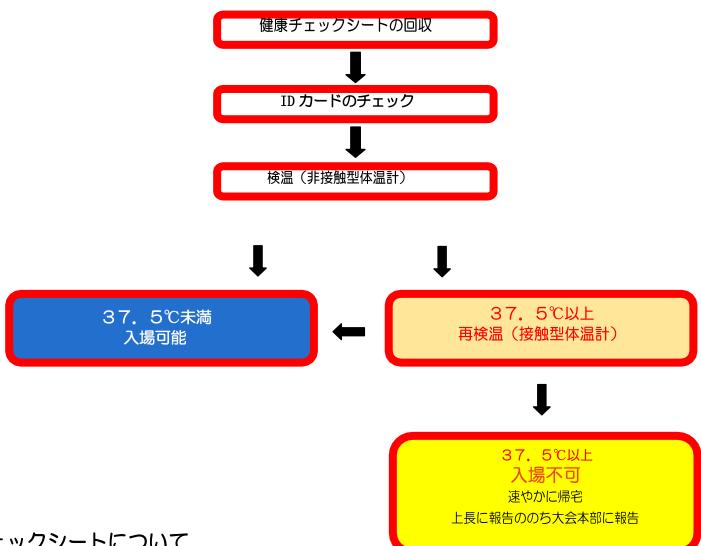
- ・大会当日の検温記入欄
- ・基本的な健康チェック欄

提出日:	年 月	B				公益則	団法人 E	本バレーボ	ール協:
		健康	東チェックシ	ート(提出)	用)				
康状態を確認 本健康チェック 健康状態の把 き、ご本人の旧 囲で保健所等 <基本情報>	シートは、JVAの加けすることを目的として シートに記入いただけ シートに記入いただけ は腰、来場可否の判 可意を得ずに第三者 に提供することがあり	います。 いた個人情報につい 断および必要なご返 に提供いたしません	いて、各協会及び 重絡のためにのみす	主催者は、厳正なる 引用します。また、個	管理のもと	に保管し、	大会・講習	会等運営限認められる場	保書の 場合を開
チーム名 又は 所 属				所属					
フリガナ				生年月日	西曆	年	月	日 (歳)
氏名				携帯電話番号					
				Eメール アドレス					
自宅住所	₹								
<大会当日の	体温	7							
日付	起床時体温	4							
/ () 1								
<大会前2	2週間における	建康状態>		のに「V」を記え	えしてくだ	さい。			D- 1000
O THE .	ATT - 7 (70) #4 174		チェック項目					†I	ック樹
① 半熱を	超える発熱がな	(6)							
② 咳 (せ	き)、のどの痛。	み等の風邪症や	犬がない						
③ だるさ	(倦怠感)、息	苦しさ(呼吸	困難) がない						
④ 臭覚や	味覚の異常が	ない							
⑤ 体が重	く感じる、疲れも	っすい等の症状	がない						
⑥ 新型コ	ロナウイルス感多	た症陽性とされ	た者との濃厚	接触がない					
		1 (-100):51.46934	われる古がいけ	13					
	(族や身近な知								
8 過去1	残か身近な知 4日以内に政 航または当該有	府から入国制	限、入国後の	観察期間が必要	要とされて	いる国、	地域等		
⑧ 過去1への渡	4日以内に政	府から入国制 住者との濃厚	限、入国後の 接触がない	観察期間が必	要とされて	ている国、	地域等		

(例)

【3】大会運営②

3. 大会役員の受付



4. 健康チェックシートについて

大会関係スタッフ/プレス/ご招待者・協賛社様

- ・大会当日の検温記入欄
- ・基本的な健康チェック欄
- ・ 大会当日のみ検温
- ・ 基本的な健康チェック欄



(例)

【4】大会運営③

1. 基本的な感染予防策

- ① 関係業者、大会関係スタッフ数が必要最小限になるよう調整する。
- ② マスクを持参し、館内では着用する。
- ③大会期間中(移動するとき、競技を行っていないとき、ベンチにいるとき、会話をするときを含む)はマスクを着用する。
- ④小まめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。(入館・退館時、食事の前後、トイレの後、競技後など)
- ⑤ 食事時は密を避け、黙食を徹底する。
- ⑥ 他者との距離(できるだけ 2m 以上)を確保する。 ※障がい者の誘導や介助を行う場合を除く
- ⑦ 大会中および大会終了後 1 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会主催者へ速やかに報告する。
- ⑧ 入館時に健康チェックを行う。※大会前2週間における以下事項の有無
- ア) 37.5℃を超える発熱 ※超える場合は入場できません
- イ) 咳や喉の痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常
- ウ) 身体が重く感じる(だるさ、倦怠感)、疲れやすい、息苦しい(呼吸困難)等
- エ) 新型コロナウイルス感染症と診断されたものとの濃厚接触がある
- オ) 同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方がいる

⇒ア) ~オ) に該当がある場合は入場不可

【4】大会運営③

2. 新型コロナウイルス感染症にかかる相談窓口について

(1) 新型コロナウイルス感染症が心配なとき、発熱・咳・咽頭痛などの症状で体調が悪い場合は、かかりつけ医のいる 方は、かかりつけ医(病院)に電話でご相談ください。また、都道府県の発熱相談センターや厚生労働省の下記新 型コロナウイルスに関する相談・医療の情報や受診・相談センターの連絡先を参照ください。

《参考》 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/covid19-kikokusyasessyokusya.html

- ① 各地域における医療機関・新型コロナウイルス受診相談窓口の受付時間や電話番号等は事前に確認しておくこと(休日・夜間等ち)
- ② 医療機関の診療および検査結果において、陽性者と診断された場合には、保健所および医療機関の指示に従う
- (2) 新型コロナウイルスは潜伏期間(発症の 2~3 日前)から他人に感染させる可能性があります。 その期間に接触のあった方は、保健所から連絡により、濃厚接触者と認定される場合があります。また、感染してから発症するまでの潜伏期間は1日~14日(平均5日)です。感染源を探す際、14 日間の行動(対人接触)をさかのぼってモニターすることになります。
- (3) 新型コロナウイルス感染症に関わる窓口は、保健所および医療機関になります。これらの指示により対応することになります。 《参考》
- ■厚生労働省 ➡ 健康や医療相談の情報 / 感染防止と医療提供体制の整備

3. 応援等で禁止する行為

- ① 声を出しての応援、メガホンの利用
- ② マスクを外した応援(指笛など)
- ③ 人と接触する応援 (ハイタッチ・肩組みなど)
- ④ 大旗を振る
- ⑤ 応援マフラータオルを振り回す
- ⑥ スティックバルーンの使用(息で膨らませるため)

4. 応援等で容認する行為

- ① 拍手や手拍子
- ② 応援マフラータオルや応援うちわを自席で掲げる